

# 短期入院協力病院(重点病院)のご紹介 Vol.9 社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院

### ■病院について

当院では「再びその人らしい生活に」を病院全体の合言葉に、質の高いリハビリテーション医療に取り組んでいます。

269床の内、215床が回復期リハビリテーション病床で、残りの54床は障がい者病床として、地域の重症心身障がい児や脳損傷、脊髄損傷、神経難病などの障がいをお持ちの患者様に対応しています。

2014年度に国土交通省の短期入院協力病院の指定を受け、2022年度からは意欲的にリハビリを提供する協力病院である『重点支援病院』にも指定されました。

2023年度には、6名の患者様が複数回の短期入院を利用され、延べ369日(平均14.8日)の短期入院となっています。

また、2023年度からはナスバが実施している『重度脊髄損傷者受入環境整備事業(モデル事業)』(全国4カ所)も受託しています。これは脳損傷者を対象としたナスバ療護センター・委託病床(全国12カ所)と同様に、脊髄・頸髄損傷の方にナスバ病床として手厚い治療・看護・リハビリテーションを一体的に実施するとともに、集中的にリハビリテーションを行う新たな取り組みです。

### ■在宅療養について

主治医の訪問診療や訪問看護、訪問リハビリ等の医療サービスを受けていても、在宅療養を続けていくことは、ご家族の心身両面での負担が大きいと実感しています。介護されるご家族のレスパイトのための短期入院は在宅療養を続けていくためには大変重要であると考えます。

一方、長期の在宅療養では、残存機能も徐々に低下していきますので、3か月毎など、定期的に短期入院していただき、リハビリを集中的に行うことで、機能維持・向上させることができ、その後の在宅療養もより良い形で続けていけることができると考えています。

### ■診療について

当院には脳神経外科や神経内科、整形外科などを専門とする医師が在籍し、多くの医師が日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医の資格を保有しています。

主治医の訪問診療を受けていても、在宅療養中にはCT撮影や心電図などの検査も中々できないと思います。短期入院中には、日ごろのご心配なども伺いながら、必要な検査を行うことで、悪いところがあれば早期の治療につなげることも可能になります。

### ■短期入院について

もともと当院では回復期治療・リハビリの後に在宅復帰された患者様にも、レスパイトやリハビリのための短期入院を実施していました。

定期的に入院して頂くことで、スタッフも前回の状態との違いを的確に把握でき、リハビリ方針や目標も立てやすくなります。短期入院期間中に実施したリハビリ内容などは、訪問リハビリ事業者にも診療情報提供書として伝えることが可能ですから、在宅療養中のリハビリともシームレスにつなげることが可能となります。

## ■リハビリについて

治療においては医師と各スタッフが協力し合い、患者様のさまざまな課題に向き合っていきます。看護師や理学療法士、作業療法士、言語聴覚士をはじめ、医療ソーシャルワーカーや薬剤師、管理栄養士、歯科医師、歯科衛生士などが集結し、各々の専門性をかけ合わせながらリハビリテーション医療を提供していきます。

短期入院中には、リハビリ3職種のうち少なくとも2職種が毎日介入するようにしています。

## ■患者様、ご家族をサポートします

ご家族にとっては、日ごろ自分たちだけで介護しているのに、短期入院すると見ず知らずの他人が治療、看護、リハビリを行うことに、不安を覚えられる方もいらっしゃると思います。

まずはご相談頂き、病院見学もして頂きながら、ご心配や不安な点を解消していきましょう。スタッフ全員で、患者様そしてお家族をサポートしてまいります。

皆様からのご相談、ご連絡をお待ちしています。



愛仁会リハビリテーション病院の皆様  
(前列右より)

看護部長 福井 希代子氏  
院長 越智 文雄氏  
リハビリテーション科 医長 松岡 美保子氏  
事務部長 大谷 はるか氏

(後列右より)

リハ技術部 副主任 大西 祥平氏、  
地域医療部 MSW 内藤 愛氏  
地域医療部 科長・MSW 西尾 怜氏  
リハ技術部 副部長 山木 健司氏



## ■ 所在地:

大阪府高槻市白梅町5-7

## ■ 診療科:

リハビリテーション科、脳神経外科、整形外科、内科、循環器内科、小児科、精神科、皮膚科、歯科

## ■ 病床:

回復期リハビリテーション病棟 215床  
障害者病棟 54床 計269床

## ■ 短期入院対象者:

脳損傷(特I種、I種、II種)、脊髄損傷(特I種、I種、II種)

## ■ 問合せ先

072-683-1212(代表)地域医療部で、  
ご相談をお受けいたします。

## ご利用者様の声(大阪府在住K様)

岡山療護センター退院時に自宅を改修する間、3か月ほど入院しました。

その後は自宅で、訪問診療、訪問看護、訪問ヘルプ等を受けながら、4か月に1度の頻度で短期入院しています。

本人もだいぶ慣れてきて、楽しく利用している様子が表情からも分かります。

3か月ごとに短期入院しませんかとご提案いただいて、よりしっかりリハビリしていただけると期待しています。

主治医との診療情報の共有もきちんと行っていていただき、病院スタッフの皆様には本当に感謝しています。

将来、自分(親)がいなくなった時のことを考えるとどうしようかとつらくなりますが、いまから色々な制度など、しっかり勉強して備えたいと思っています。